

# 令和4年度 第1回 松野町まちづくり委員会会議録

日時：令和4年8月17日（水）10時00分～11時30分

場所：松野町役場 庁舎2階 議場兼大会議室

## 【委員（出席者）】

氏名	出欠	氏名	出欠	氏名	出欠
井上六廣	出	小西敏文	出	岡正司	出
岡村勝	出	岡本仁志	出	毛利恒子	欠
中脇優	出	西村正人	出	毛利伸彦	欠
毛利達晴	出	加藤勝恵	出	武内正紀	出
須田正文	出	中森京司	出	毛利峰子	出
濱田章二	出	谷清	出	—	—
竹内義富	欠	井上重人	欠	—	—

## ～ 次 第 ～

1 開 会

2 あいさつ

3 協議事項

- (1) 第2次森の国松野町まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について
- (2) 昨年度開催した専門部会について（報告）

4 自由討議

令和4年度第1回松野町まちづくり委員会の開催結果について

日時：令和4年8月17日（水）10:00～11:30

場所：松野町役場 庁舎2階 議場兼大会議室

参加委員：井上（六）委員、岡村委員、中脇委員、毛利（達）委員、須田委員、濱田委員、小西委員、岡本委員、西村委員、加藤委員、中森委員、谷委員、岡委員、武内委員、毛利（峰）委員

参加職員：石田課長補佐、土居課長補佐、吉原主事（ふるさと創生課）

内容：概ね次のとおり。

1. 開会あいさつ（坂本町長）

2. 委員長あいさつ

3. 協議事項

(1) 第2次森の国松野町まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について

ふるさと創生課が資料に基づき説明を行った。

(2) 昨年度開催した専門部会について（報告）

ふるさと創生課が資料に基づき説明を行ったところ、概ね次の意見等が述べられた。

発言者	内容
委員	専門部会で検討するとしていた事業の検討状況を聞きたい。
事務局	米のブランド化については、ロゴマーク等を作成するなど、更なるPRを図っているところ。 定住促進については、特定地域づくり事業協同組合を立ち上げ、2名の職員を採用したことをはじめ、様々な支援を行っている状況。
	（米のブランド化について）
委員	米の味等の決め手はどこで作ったかという場所（土・水等といった環境）が大切になってくるため、ブランド化するのであれば、地域別で分けた方が良い。 松野町の米として町全体で統一した売り出しの仕方でよいのか、再度しっかり検討すべき。
委員	「〇〇さんが作った米」というように地域名でなく、個人名で売り出す方法もある。

4. 自由討議

発言者	内容
	（町の活性化について）
委員	店を増やすことが重要。
委員	町外から来てもらうために、店を出しやすい環境をどう醸成していくかが課題であり、町にも支援をお願いしたい。
委員	一時的な盛り上がりで終わることなく、その環境を継続していくことも重要。

	(移住について)
委員	町の人口が減少し、何かしようにも頭数が不足している。 若者に来て欲しいと思う。 このためには、失敗してもかまわないので、やりたいことに挑戦できる環境の醸成が必要不可欠。行政には、このサポートをお願いしたい。
事務局	地域おこし協力隊制度を活用し、農業や観光分野で、3年間ミッションにチャレンジし、4年目に起業・移住する場合の支援金を町が支出することで、やりたいことに挑戦できる環境醸成のサポートを実施している。 また、移住相談会等においても、「〇〇をしたい」という意志をもった相談者が多い傾向であり、こういった方々に引き続き情報発信を行い、移住・定住の促進や担い手の確保等に力を入れていきたいと考えている。
	(特産品について)
委員	前述の若者に新たな特産品を作ってもらうのも良い。
	(観光・食事について)
委員	観光客が来たときに、家族連れで昼食を食べる場所が虹の森公園以外になく、紹介できるところもない。 せっかく来てもらっても、お金が使う場所がないのは問題。
委員	町内で良いもの（買いたい人がいるもの）を作っているにもかかわらず、売っている場所が不明で、買うことができずに帰る人もいる。
委員	虹の森公園のレストランにうなぎ関係の料理をだすのはどうか。
委員	ジビエを食べれる店があればよい。
委員	民宿で松野で採れたものを使用した昼食を提供したりするのはどうか。
委員	養殖しているマスの活用方法はどうなっているか。
事務局	釣り堀での活用や缶詰での販売を予定している。
	(自主防災について)
	松丸地区で行っている取組について共有された。
委員	2次避難が課題。
委員	訓練では身体の不自由な方や施設入居者の把握を行っているが、実際の災害の際に、どう避難させることができるかが大きな課題。
	(松丸商店街のまちづくりについて)
委員	昨年度の委員会において、ワークショップを開催するなどし、地域課題の解決に資するとのことであったが、現在の実施状況はどうか。
事務局	ワークショップを開催した結果、「松丸高校プロジェクト」が採択され、今年度、外部から専門家を招き、活動を開始している。 また、伊予銀の跡地を町が買い上げ、4戸ある社宅を移住者専用の町営住宅とした。
	(文化財について)

委員	<p>築300年の茅葺き屋根の宮川弥勒堂はH20, H30に茅のふき替えを行った。特に、H30の作業では町ともタイアップして、茅葺き屋根のふき替えを体験するワークショップも実施した。その際、専門家の話では、10～15年はもつとのことだったが、すでに傷んできている状況であり、地区において補修を行っている。この状況について、教育委員会にも相談した。</p> <p>どのように保存していくか、その後の検討状況をお聞かせ願いたい。</p>
	(その他)
委員	<p>専門部会で話し合った事項について、その後の取組状況を共有する場が必要なのではないか。</p>
事務局	<p>検討したい。</p>